

およげるようになったよ

御油小・2 児童

わたしは、今までおよげませんでした。水に顔をつけると、はながいたくなります。だから、もぐるのがこわかったです。でも、学校のプールの時間に、友だちが楽しそうにおよいでいるのを見て、うらやましくなりました。いっしょにあそべるようになりたいと思いました。

およげるようになるために、夏休みに家ぞくで、ゆうゆうアリーナへれんしゅうしに行きました。プールに入ったときは、顔はつけられるけど、頭までもぐれるかなとどきどきしました。はじめは、あそびながらおよぐれんしゅうをしました。お母さんに、「少しだけでもいいから顔をつけて、ビートばんでちょうせんしてみりん。」

と言われました。ちょっとだけ顔はつけられたけど、やっぱり頭まではもぐれませんでした。いっしょにあそんでいた妹も、こわがって顔がつけられませんでした。すると、お父さんが、「顔がつけられるようになると、こうやっておよげるようになるんだよ。」

と言って、クロールを見せてくれました。お父さんのクロールはとてもはやくて上手でした。わたしもお父さんみたいにおよげるようになりたいと思ったので、

「どうしたらおよげるようになれるの。」

と聞きました。

「ちょっとだけゆう気を出してやってみるとできるようになるよ。」と教えてくれました。それからもういちどれんしゅうをしました。すると、妹がもぐれるようになりました。お母さんが、「すごいね。」

とほめていました。妹が先にもぐれるようになってくやしい。わたしもほめられたと思います。お父さんに、「手をつないでいっしょにもぐるよ。」

と言われました。こわかったけど、お父さんみたいにクロールができるようになりたいと思って、ゆう気を出して顔を水に近づけました。ぜつたいにできると思ってたちょうせんしたら、はじめて頭まで水の中に入れることができました。お父さんが、

「できたじゃん。すごいね。」

と言ってくれました。ほめてもらえてうれしかったです。もぐれるようになって、ゆう気を出してよかったと思いました。もぐれるようになったので、家ぞく五人で水中じゃんけんをしました。いっしょにあそべるようになってうれしかったです。

つぎは、目をあけてもぐることやけのびができるようになりたいです。そして、いつかお父さんみたいにクロールがカッコよくできるようになりたいです。お父さんやお母さんが教えてくれたことに気をつけて、これからもれんしゅうをがんばりたいです。